

日本民間放送連盟賞 CM部門 優秀賞 受賞 「公共キャンペーン・スポット 盛岡弁」

IBC岩手放送が2021年1月～2月に放送した「公共キャンペーン・スポット 盛岡弁」が2021年日本民間放送連盟賞・CM部門・ラジオCM第2種（21秒以上）において優秀賞を受賞しました。日本民間放送連盟賞は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟（民放連）が1953（昭和28）年に創設した賞です。民放連の会員である全国の民放各社から参加のあった番組・事績を対象に毎年1回実施し、優れた番組、優秀と認められた事績を顕彰しています。

日本民間放送連盟賞 CM部門・ラジオCM第2種（21秒以上）優秀賞

「公共キャンペーン・スポット 盛岡弁」（60秒）

□ディレクター／佐藤正昭 □ナレーション／加藤久智 □放送日時 2021年1月～2月

盛岡弁を残す活動を続けている中谷眞也さんは、盛岡弁には「滑る」という言葉だけでも20くらいあるという。「つすつと滑る」「でらくらでらくら」。その言葉づかいで、盛岡の人は気象や地面の状態までわかるという。方言を守ろうとする自社の取り組みの意義を地元の人の豊かな方言でストレートに伝えた点が、高く評価された。言葉の多様性を伝えるラジオの役割も再認識させられる。（民放連の講評より）

* 日本民間放送連盟賞の表彰は11月9日（火）にライブ配信で行われます。